

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ松柏

(ユニット名) B棟(すだち)

記入者(管理者)

氏名 西村 由美

評価完了日

平成 19 年 10 月 20 日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | <p>(自己評価)</p> <p>地域密着型サービスの意義を確認し、事業所と地域の関係性強化を謳った理念を作っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では開設当初から、利用者が「地域の中でその人らしく」暮らすことを支援できるよう理念を作っておられる。</p> | | さらに、地域の方達に事業所の役割等、理解を深めていけるような取り組み等も期待される。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>スタッフ会などで、理念に合ったケアが出来ているかどうか確認しあっている。管理室や通路のめにつく場所に掲示してあり、理解している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所の理念を共用空間等、目に付きやすい場所に掲示されている。又、スタッフ会等の機会でも、理念に基づきケアが行えているかということを確認しておられる。</p> | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>訪問時や家族会など、折に触れ繰り返し伝えている。ホーム見学や、ホーム便りを活用している。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 近隣の人達と挨拶を交わしたり、話をしたり、時々、畑で作られた野菜をいただいたりしている。 | | |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 地域で行われる行事には、積極的に参加している。中学生や地域の婦人会の方との交流もあり、利用者の喜ぶ物を手作りして頂く。 (外部評価) 夕涼み会の開催等、地元の方達との交流を図っておられる。事業所では、近所の方達と交流する機会が少ないのではないかと感じておられる。 | | 運営推進会議時、地域の回覧板で、事業所の催しの案内をしてみてもどうかと提案していただいている。今後さらに、近隣の方達とお付き合いのきっかけ作りが期待される。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 人材育成の貢献として、実習生を積極的に受け入れている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) サービス評価の意義や目的を全スタッフに伝え、全員自己評価に取り組んでいる。外部評価の結果により、改善計画を作成し、改善に努力している。 (外部評価) 管理者は、サービス評価の主旨を説明し、全職員で自己評価を作成され、個々の課題点等を再確認された。前回の外部評価結果を受けて改善計画書を作成され、事業所に掲示し、全職員で取り組まれた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 2ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。運営推進会議で出された意見について、全スタッフに伝え、サービスの向上に努めている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所では、会議時たくさんの意見が得られるよう、ざっくばらんな会にしていくことに心がけておられる。運営推進会議時、事業所の取り組みの報告等をされ、食事の味付けや材料等についてアドバイスもいただいた。今後は、地域の防災訓練等にも参加していく予定となっていた。 | | |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 運営推進会議、介護相談員の訪問で接する機会がある程度。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 3か月に一度、市主催の連絡会に参加されており、意見交換や勉強会をされている。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 前責任者が、成年後見制度についての研修会に参加した。 | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | スタッフ会などで高齢者虐待防止について話し合ったり、勉強したりしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 時間を取って、丁寧に説明している。 | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 苦情相談内容記録表を作成しており、苦情や不満がある場合は、話し合い、運営に反映させている。 | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 2ヶ月に1回新聞を発行して、暮らしぶりを報告したり、行事を行った時など写真におさめ掲示している。 (外部評価) 行事等の写真も載せ2ヶ月に一度、ホームだよりを発行されている。遠くにお住まいのご家族には、手紙や電話でご本人の様子を伝えておられる。状態等に变化があるような場合には、その都度、電話で報告されている。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 家族からの意見があった場合は、スタッフ会、朝の申し送り時に話し合い、改善し、質の向上に努めている。 (外部評価) ご家族の来訪時や家族会の機会に、ご家族から意見や要望等を聴き取っておられる。現在は、意見等が出されることは少なめである。 | | さらに、ご家族から意見や要望をいただけるよう、家族会の進めかた等についても工夫を重ねていかれることが期待される。職員が替わることにについて、利用者はもちろん、ご家族等の心情等にも配慮していかれることが期待される。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) スタッフ会や面接時に意見を聞くようにしている。 | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 利用者の状態やペースに合わせたローテーションを組んでいるが、人員不足で、余裕が無いときがある。 | | 人員を増やし、不足解消に繋がると良い。 |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 利用者へ不安を与えないよう、馴染みのスタッフが対応することが重要と考えており、異動などがあった場合、引継ぎの面で最善の努力をしている。 | | |
| | | | (外部評価) 職員の離職がある場合、利用者がダメージを受けないよう、声かけ等に工夫をされている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 法人内外で開催される研修には、なるべく多くのスタッフが受講できるようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) 毎月、職員が法人内・外の研修を受けられるよう推進されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 他のグループホームなどと交流をもつことにより、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 法人内の他グループホームの研修や連絡会等に参加されている。運営推進会議に、他事業所の方を招き、交流を深めておられる。 | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 日常や面接時に、スタッフのストレスや悩みを把握するように努めている。 | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 運営者は、現場に来ることも無く、現場の状況が把握されていないと思う。 | | もっと現場の状況やスタッフの勤務状況を知ってほしい。 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 不安や困っていることがあった時は、よく話を聞き、思いを受け止め、安心につながるよう、努力している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 家族が困っていること、不安なことがあった時は、話を聞き、どのような対応ができるか、話している。 | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 本人や家族の思い、状況などを確認し、改善に向けた支援の提案を行っている。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 入居の前に、本人や家族に見学に来ていただいている。少しずつ、ホームに慣れていただくよう、時間をかけて安心感をもってもらうようにしている。 可能な限り、ご家族、ご本人に見学していただけるようすすめておられる。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 人生の先輩であることを忘れず、利用者から色々教えてもらう場面が多い。共に学んだり、支えあったりして、楽しい生活を送られている。 (外部評価) 利用者が率先して家事等を行ってくれる場面が多く、利用者と職員が協力し合って生活している様子がかがえた。職員は、料理のことや地域の歴史等について教わることもある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 日々の暮らしの出来事や気づきの情報共有に努め、一緒に本人をささえていく関係を築いている。 | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 外出や外泊で家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事などに家族を誘ったりして、より良い関係の継続に努めている。 | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 一人ひとりの生活習慣を尊重し、関係が途切れないよう支援している。 | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 毎日の御茶や食事の時間には、一緒に多くの会話をもつようにしている。 | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 関係を断ち切らないよう、努力はしているが、退居されると、関わりが少ない。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) | | |
| | | | 日々の関わりの中で、声を掛け、把握に努めている。困難な場合は、家族に相談している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者との関わりの中で気づいたことについて、朝の申し送りやスタッフ会などで話し合い、全職員で利用者個々の思いや意向、希望の把握に努めておられる。 | | |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 入居情報やサマリーにより、情報を得たり、家族や本人から、どんな生活をしていたのか聞くようにしている。 | | |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 生活リズムを理解し、出来ることに注目して、そのひと全体の把握に努めている。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者が自分らしく暮すため、本人や家族の要望を聞き、スタッフ会等で話し合い、介護計画を作成している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | すべての職員が参加し、利用者個々の情報を踏まえて意見交換を行い、介護計画が作成されている。 | | さらに、ご本人の生活を支援していくためにも、計画にご本人の希望やご家族の意向等が採り入れられるような仕組み作りが期待される。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 月の終わりに評価を記入している。3ヶ月に1回、スタッフ会で話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 3か月ごとの見直しと状態の変化に応じた随時の見直しをされている。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 個別に介護記録を記入し、問題点があれば、情報を共有し、スタッフ会等で話し合い、介護計画を見直している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | ショートステイやデイの利用は行っていないが、通院、送迎等は、臨機応変に対応している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 通院、買い物、理美容の利用等、柔軟に対応されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) ボランティアの方、介護相談員の方などに来ていただき、協力しながら支援している。 | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 本人の希望や体調に応じて、訪問美容サービスを受けている。 | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、これをきっかけに関係が強化された。 | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) かかりつけ医と関係を築きながら、医療を受けている。 (外部評価) ご家族、ご本人の希望するかかりつけ医に受診できるよう、ご家族の協力を得ながら支援されている。 | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 母体が病院であり、認知症についての指示や助言をもらっている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|---|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 月に2度医療連携体制で来所し、利用者の状態を把握している。医療面での相談、助言、対応を行っている。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 入院時は、サマリーにより、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供している。見舞いに行ったり、医療機関より、回復状況などの情報を得ている。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 本人や家族、かかりつけ医と話し合い、支援している。 | | |
| | | | (外部評価) 入居契約時、ご本人、ご家族には、医療連携の指針に基づき説明されている。その後、利用者、ご家族と重度化した時のことや看取りについて話し合う機会は少ない。 | | ご本人の思いやご家族の心配されていることを聴き取ったり、事業所の体制作り等を話し合う機会とされてはどうか。 |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 本人や家族の意向をふまえ、医師、スタッフが連携をとり、安心して、納得した最後を迎えられるよう支援している。 | | |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 本人が別の施設へ移られる際、サマリーを作成して、情報を交換し、住み替えによるダメージを最小限に防ぐことに努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1.その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 調査訪問時、職員は、利用者個々の個性等を踏まえた声掛けをされている様子がうかがえた。 | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | スタッフ間で決めたことを押し付けることのないよう、気をつけながら、利用者が自分で決める場面をつくっている。 | | |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) | | |
| | | | その日、その時の本人の気持ちを尊重して、本人の得意な事をしてもらったり、一人ひとりのペースを大切にしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 食事の後、後片付けをされる方、テレビを見る方、テーブル席でおしゃべりを楽しむ方、居室で休まれる方等それぞれのペースに合わせて職員は、見守り支援されていた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 馴染みの美容院に行ったり、個々の生活習慣に合わせて、支援している。洋服など着たいものを選んでいただいている。 | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 何が食べたいか希望を聞いたり、季節感を大切にしたり、昔懐かしいおやつなども手作りしている。 (外部評価) 利用者と職員と一緒に協力し合って食事の準備、片付けをされていた。食事中、利用者の昔話と職員のやり取りの会話がはずみ、楽しい食事時間となっていた。 | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) お酒については、お正月やお祭りなど、年に数回しか楽しまれていないが、他の飲み物、おやつなどについては、日常的に楽しめるようにしている。 | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) その方に合わせ、時間や習慣を把握し、トイレ誘導することで、トイレでの排泄ができるよう支援している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 車椅子の方が多いため、スタッフの人数など考え、どうしても日中の入浴になってしまうが、入浴を楽しめるよう支援している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 体調等にも配慮して入浴を支援されている。毎日入浴される方もおられる。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 個々の生活リズムを把握し、安心して気持ちよく休息できるよう支援している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 一人ひとりの力を発揮できるよう、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 役割当番表を共用空間に貼り、ご自分の家事の役割等を率先して行っておられた。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 外出時に、自由に使えるように小額を手元に持ってもらっている。自分で払える方は、払っていただいている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|---|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | スタッフ不足のため、戸外に出かけることが少なくなっている。 | | スタッフの数を増やしてもらい、ストレスがたまることなく、楽しく過ごして頂きたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 婦人会のボランティアの協力を得て、買い物に出かけられた。現在、利用者が、ちょっと近くに出かけるというような機会は少な目である。 | | 利用者の希望等もうかがいながら、日常的に気軽に出かけられるような支援も期待される。 |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 月に1度は、遠くへの外出を心がけはいるが、車イスの方が多いため、なかなか実現できない。 | | 十分にはできていないので、支援できるよう努めていきたい。 |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の希望に応じ、日常的に電話や手紙を出せるよう支援している。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | どなたでも、気軽に訪問できるよう、雰囲気作りを心がけている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 身体拘束をしないよう、スタッフ間で気をつけながらケアをしている。 | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 利用者には、鍵をかけることなく、自由な暮らしをえんしている。ドアが開くとメロディがなるように工夫されている。 | | |
| | | | (外部評価) 日中、玄関の鍵はかけておらず、センサーで来訪者を察知できるようになっている。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) さりげなく全員の状況を把握している。夜間は数時間毎に見回りし、安全に配慮している。 | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 保管管理が必要なもの、利用者が使うときに注意が必要なものなどに分けて、管理している。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 万が一の事故が発生したときは、事故報告書を作成し、事故原因や今後の予防対策について検討し、家族への説明、報告を行っている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の研修を実施している。 | | |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 年に4回ほど避難訓練を行っている。消防署の協力で、避難経路の確認、消火器の使い方など訓練している。 (外部評価) 夜間を想定した訓練も実施されている。夜間、職員数が少ない時間帯の避難の方法について、消防署のアドバイスを受けられた。 | | |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) 家族はグループホームの主旨をよく理解されており、あまり問題にはなっていない。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 毎日、バイタルチェックを行い、異変がある場合は、速やかに主治医に報告。指示を仰いでいる。また、ほかのスタッフには、伝達ノートにて情報伝達している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 薬についての説明などの書類をファイルにし、把握できるようにしている。本人の状態に変化があった時は、医療機関との連携を図れるようにしている。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 水分補給に努めたり、活動量を増やしたりして、自然排便できるよう、支援しているが、便秘時は、ほとんど薬に頼っている。 | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 毎食後、声掛けにて口腔ケアを行っている。就寝前は、義歯洗浄を行い、週に一度ポリドントを使用している。 | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 食事量のチェックをしている。水分摂取については、決まった時間に摂取していただき、夜間は自室にペットボトルを使用したお茶を用意している。 (外部評価) 事業所で作成した献立を時々、法人内の栄養士に見ていただき、アドバイスをもらうようにされている。水分摂取に気を付けた方が良いような方には、居室でも水分摂取できるようペットボトルを置いておられた。 | | |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) マニュアルを作成している。手洗いの励行、ペーパータオルを使用するなど、予防の徹底に努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>まな板やふきんなど、毎日漂白している。冷蔵庫も点検して、食材の鮮度にも気をつけ、食中毒予防に努めている。</p> | | |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>季節の花を植えたり、座って話が出来るよう、ベンチ等も置いている。</p> | | |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>食堂の飾りつけなどは、利用者と一緒に考え、居心地よく過ごせるよう工夫している。季節感や五感も大切にしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下には神棚があり、居間に秋の紅葉の写真がたくさん掲示されていた。</p> | | |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>イスなどを置いて、くつろげるスペースを作っている。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 使い慣れた日用品が居室に持ち込まれている。居心地よく過ごせるよう工夫している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 居室の入り口には暖簾がかけられ、ご家族の写真や利用者の似顔絵等が飾られていた。又、前回の評価結果を受け、利用者と共に自宅に馴染みのものを取りに行かれ、居室をしつらえた方もおられた。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 悪臭がでないよう、換気を行ったり、消臭スプレーを使用したりしている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 手すりや浴室、トイレ、廊下などの居住環境のあらゆる場所に安全確保と自立へ配慮している。 | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 各部屋の入口には、名前を入れたり、分かりやすいように目印をつけたり、混乱を防ぐような工夫をしている。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 2階でベランダがなく、外気浴を楽しむことが出来ない。1階に行くと、玄関先にベンチを置き、日向ぼっこなどできるようにしている。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 利用者との会話によって把握している。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | おやつや食事の後に会話をしたり、一緒に手作業をしたりして、ゆったりと過ごさせている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 各自が、自分のペースで過ごさせている。居室でテレビを見たり、趣味のものをされたりしている。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 得意な作業をしている時や、昔話、季節のこと、ニュースのことを話しているとき、表情よく、笑顔見られる。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 車イスの利用者が多いのと、スタッフの人員不足があり、なかなか行きたい所へ連れて行ってあげることが困難である。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 体調不良や急変時には、すぐ主治医と連絡できる体制をとっており、定期的に主治医が往診に来る。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者が安心して暮らすことができるよう、日々、サービス支援を行っている。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 来所時には、現在の利用者の様子など伝え、家族の意向があれば聞き、出来るだけそれに向け支援している。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | 行事の時など、招待している。(婦人会、介護相談員) |

| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない | ホームでの行事に参加していただいたり、地域や学校の行事に参加したり、つながりが広がっている。 |
| 98 | 職員は、生き生きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 人員不足があり、ゆったりと過ごせないときがあり、少し活動性にかけている感じがするが、利用者と共に笑顔ある毎日を送っている。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 外出する機会が少なく、物足りなく感じている利用者がおられるかもしれないが、出来る限りのサービス支援をしている。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 今のところ、苦情などないので、満足されているのではないかと思う。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

季節にあった行事や地域の行事など、ホームでも取り入れたり、時には参加したり、楽しんでいただいている。毎日の食事も、季節の物や食べたいものなど聞き入れ、献立を考え、少しでも食に関して満足していただくよう努力しています。